

長周期地震動に関する観測情報 のページの本運用について

長周期地震動に関する観測情報の本運用開始について

長周期地震動に関する観測情報(試行)の提供の経緯

※第13回長周期地震動に関する情報検討会資料より抜粋

- ・「長周期地震動に関する情報検討会平成24年度報告書」(平成25年3月)において、震度とは別の指標として長周期地震動階級を新たに定義し、まずはPULL型の情報として気象庁ホームページに掲載することとした
- ・これを踏まえ、平成25年3月より、「長周期地震動に関する観測情報(試行)」のページを掲載を開始



「長周期地震動に関する観測情報(試行)」のページ

【報告書で示された方針(抜粋)】

- ✓ Webの特性を活かし、専門的知見を有するものが高度に活用可能なよう、応答スペクトルや地震波形などのデータも提供すること
- ✓ 掲載内容については、利用者等の意見を踏まえて改善していくものとする
- ✓ まずは長周期地震動の情報に接する機会を増やすことで、認知度の向上を目指すこと

現在提供している長周期地震動に関するWEBコンテンツについて

地震発生直後に階級等をお知らせするページ

○長周期地震動に関する観測情報（試行）

※自動アップロードページ

- ・地震発生後約20～30分で気象庁WEBページに掲載（自動アップロード）
- ・現地の震度計から送信された強震波形（加速度波形）を用いて、
中枢（気象庁・大阪管区気象台）で自動で解析を行い、
解析結果（長周期地震動階級等）を掲載
- ・「気象庁観測点で震度1以上の地震」について掲載

今年度中に
試行から本運用へ
移行

本運用に伴い
掲載基準変更予定

なお、過去の地震のデータベースとして活用する

○「長周期地震動階級1以上を観測した地震」のページ ⇒ 今回変更は行わない

- ・地震発生の翌日～約1週間後を目処に気象庁WEBページに掲載
（担当官の手作業により手動アップロード）
- ・観測値の精査（強震波形の収集や再解析の実施等）を行い、
「気象庁観測点で長周期地震動階級1以上の地震」について掲載

今回は変更
なし

試行の評価及び本運用への移行

- ・「長周期地震動に関する情報検討会」での検討結果や利用者アンケートを踏まえ、スマートフォンなどの携帯端末等のアクセシビリティ向上を図りつつ、掲載内容を改善



本年3月19日に、「長周期地震動に関する観測情報」の本運用を開始予定

本運用時のWEBコンテンツ内容の主な改善点

「長周期地震動に関する観測情報」（自動アップロードページ）について、検討会での議論、WEBでのアンケート結果を踏まえ、本運用時に改善。主な改善点は以下の通り。

- スマートフォンやタブレットでの閲覧を意識したコンテンツレイアウトの改善
- 利用者が使いやすいようにレイアウト・機能を変更（例えば、トップページの観測点リストに長周期地震動階級などによる絞り込み機能を追加）



スマートフォンで見やすい縦方向にスクロール可能なレイアウトに変更

- 解説ページに、建物の固有周期の目安を例示

- ・本運用後の名称は「長周期地震動に関する観測情報」とする（「試行」を外す）

観測点番号	地域名	観測点名	階級	長周期地震動階級
北海道東	石狩地方北部	石狩市山1	5階	階級2
北海道東	石狩地方北部	石狩市山2	5階	階級2
北海道東	石狩地方中部	札幌中央区北2之丸	4	階級2
北海道東	石狩地方中部	江別市高野町	5階	階級2
北海道東	石狩地方南部	千歳市北2	5階	階級3
北海道東	石狩地方南部	千歳市西2	6階	階級4
北海道東	石狩地方南部	釧路市豊栄	5階	階級2
北海道東	釧路地方北部	小樽市御前町	4	階級2
北海道東	釧路地方北部	函館市山手町	4	階級1
北海道東	釧路地方西部	滝川市南1上	4	階級2
北海道東	釧路地方西部	滝川市南1	3	階級1
北海道東	空知地方中部	紋別市山手町	4	階級1
北海道東	空知地方中部	滝川市山手町	4	階級1
北海道東	空知地方南部	空知市富田	4	階級2
北海道東	空知地方南部	空知市山手町	4	階級1
北海道東	道東地方東部	釧路市御前町	4	階級1
北海道東	道東地方東部	釧路市山手町	3	階級1

観測点一覧表示（新規追加）

本運用後の観測情報のトップページ (イメージ) 5

長周期地震動に関する観測情報の掲載基準の変更

長周期地震動に関する観測情報（自動アップロードページ）について、これまでは試行であったため、小さめの地震についても掲載していたが、地震が多すぎて、目的の地震が見つからないなどのアンケートやヒアリングなどによる利活用状況調査の結果を踏まえ、本運用移行後は以下の通り掲載基準を変更

○本運用開始後

「[最大震度 3 以上](#)」について掲載

※なお、対象地震のうち、気象庁震度計で震度1以上を観測した地点について掲載。

※国民が速報的に知ることができる震度速報（震度3以上）の基準と合わせることで、テレビのテロップ等を契機に、気象庁ホームページで自分のところの揺れを確認できるようにする。この時には、階級1の基準に達していないことも確認できる必要がある。（このページでは階級1に達していないことを「階級0」と表示し、判るようにする。）

※過去の事例（試行開始後）は階級1以上の地震は最大震度3以上を観測している。

※長周期地震動階級1以上を観測した地震については、後日、担当者がデータの精査を行い、「長周期地震動階級1以上を観測した地震」のページへの掲載を行う（本運用開始後も変更なし）。仮に、最大震度2以下で長周期地震動階級1以上を観測した場合も、今まで同様にデータ精査後、後日掲載する。

		最大震度								
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7
長周期地震動階級最大値	1	0	0	3	23	17	8	2	1	0
	2	0	0	0	2	4	5	4	0	0
	3	0	0	0	0	0	1	2	0	1
	4	0	0	0	0	0	0	0	1	2

地震ごとの最大震度と長周期地震動階級最大値の相関

平成25年3月28日（試行ページ運用開始後）
～平成30年12月31日

これらの変更を行い、本年3月19日に本運用に移行予定